

報告事項1：平成28年度事業報告の件

平成28年度事業報告

要 旨

事業年度活動テーマ『Passage to Harmony』～ 想いをつなぐ～

公益社団法人として5事業年度目の活動を迎えた節目となる年に、真の公益法人として公益事業へ取り組む奥深さを見せられるよう、今一度、認定時の原点に立ち返り基本を見つめ、『Passage to Harmony～想いをつなぐ～』のテーマとともに会員の総力を挙げて組織を邁進させるように進めてきた。

東日本大震災から6年、熊本・大分地震から1年が過ぎた被災地の現状は、被災者の方々にとって復興・復旧はいまだ大きく変わってはいません。我々は「いま、私たちができること」の心をこれからも持ち続け、我々の願いや想いが、少しでも伝えられるよう引き続き取り組んでいきたいと願いを込めて活動してきました。

その一つとして大きく力を発揮させたのは「ハートフルファンデーション」です。年会費に会員一人年間500円の募金を頂くことを構築させ、これにより年間約17,500,000円の基礎原資が積み立てられ、本年は2事業年度目であった。万一の大災害時に「JAIFAらしい支援」が会員全員の総力をもって起動できる体制は、一人ひとりの力でさらに充実されてきたことは間違いない。

いまさらながら、JAIFAの定款は「本会は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。〔定款第2章 第3条〕」であるが、これはまさに生命保険の持つ倫理性と公益性を普及する任務を担う営業職員という職業に強い情熱を持ち、社会貢献活動にも資する営業職員としての責任と自覚を持ち、さらに輝いていくようにありたいことである。公益社団法人としてふさわしい社会貢献活動の強化を図っていくことが私たちの大切な使命であり、全国津々浦々に拡大しつつある3万6千余名という組織力を活かし、他に類を見ない活動をこれからも展開していく。

一昨年、公益社団法人に規定されている立入検査が行われた際の指導では、公益目的事業1(セミナー事業関係)が、不特定多数(一般の方)へ向けた事業を行う事で公益認定されていることから、この事業の実施を順守していくことの指導があった。これを受け、本年度も内閣府検査並びに公益事業の今後についてブロック長及び全国各地で開催されたブロック会議等を通じて周知徹底すべく、引き続き次の「3つの施策」を必ず達成することを確認した。

1. 公益事業費は、70%以上となる様に運営すること(70%ルール)
2. セミナーは、企画段階で決定申請書を提出し、公益事業判定を受けること(企画決定申請ルール)
3. 自己負担費用項目とJAIFA負担費用項目の区分を厳守すること。(費用区分ルール)

次年度も引き続き、公益の原点に立ち返りつつ、事業に臨むことを確認していく方針である。

このように、生命保険の使命と築いてきた伝統をもとに、平成28年度も公益社団法人として下記事業を中心として行ってきたことを報告する。

■「公益社団法人」としての役割と使命(教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

公益社団法人 生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会(JAIFA)は、社会保障を補完し、相互扶助の精神に基づいた公益的役割を担う生命保険の知識の向上と一般消費者の利益保護を図り、

国民生活を守るため、公正適正な業務の運営を行い、生命保険事業の健全な発展に寄与するとともに広く社会に貢献するための活動を行うことを目的とする。

目的達成のための事業は次の通りとしている。

- (1) 消費者に対する生きがいや生活設計の支援と生命保険に関する教育啓発・情報提供活動
- (2) 地域社会に貢献するためのボランティア活動やエコ活動
- (3) 消費者に対する生命保険知識向上のための調査及び関係機関への提言
- (4) その他本会の目的を達成するために必要な事業

これを礎に、これまでも増して、生命保険営業職員で構成する唯一の公益団体として、J A I F Aの果たす役割と使命を心に刻み、生命保険の健全な発展のために一歩ずつ着実な事業運営を行っていくようにしていくことを誓う。

■一般消費者の参加による年次統一セミナー、講演会・セミナー等の実施

(教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

消費者個々の利益保護を図り、国民生活を守るため、公益的役割を担う社会保障制度の一部を補完している国民生活に密接な生命保険を、適切に利用していただけるよう、保険の仕組みや新しい保険の正しい知識を一般の消費者の方々に啓発する活動や、消費者のライフサイクル全般にわたって情報提供活動につなげるべく講演会、研修会、セミナーなどを実施し、生命保険が自分や家族の生活を守る大切な役割を担っていることを理解していただくとともに、生命保険商品をはじめとする金融商品の正しい知識や活用を一般社会に普及させるように実施してきた。

一般消費者の参加によるセミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、主に『健康増進や先端医療』『生きがいを考える』『教育・人格形成』『ライフプランの設計支援』『経済や金融などの知識向上』といった5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただいた。

全国セミナーは、各地の社会貢献活動を発表する機会でもある。年に一度、統一テーマのもとに全国規模のセミナーを開催する目的は、(1)公益法人として不特定多数の利益実現を図るという、当協会の使命・役割を改めて新入会員を含め末端まで徹底させると同時に、(2)一般の消費者の方々に広く参加を呼び掛け、国民生活に密接な生命保険の役割を理解していただくことにある。そのための広報活動を積極的に展開している(2016年度開催「福島大会」：全体で4,000名参加)。また、同セミナーでは、加入者の体験談なども交え、来場者に啓発活動を展開している。あわせて、広く実施している「愛のドリーム募金」を代表例として、様々な形で社会貢献活動(リレー・フォー・ライフ、あしながPウォーク10など)ボランティア活動の意識向上を目的に活動している。

■公益法人団体相互の連携による『民による公益』の増進へ向けて

(教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1))

J A I F Aは、公益法人団体相互の交流を通じて「民による公益事業」の拡大に応えるための活動にも着眼し実施している。

公益法人制度改革の目的は、「民間非営利部門の活動の健全な発展を促進し民による公益の増進に寄与するとともに、主務官庁の裁量権に基づく許可の不透明性等の従来の公益法人制度の問題点を解決すること。」とあり『民による公益』の増進を推進している。

J A I F Aは、自協会の活動とともに、他の公益法人組織との交流の中で、互いの組織の事業への理解や連携を通じ、民による公益事業の推進に対して、交流を通じた活動に応えられるよう推進してきた。

①公益法人団体が実施する行事への参加（人的支援）

公益財団法人日本対がん協会	リレー・フォー・ライフ・ジャパン	全国各地の主催行事へ参加
公益財団法人スペシャルオリンピックス日本		全国各地の主催行事へ参加
あしなが育英会	あしながPウォーク10	全国各地の主催行事へ参加

②J A I F A年次統一セミナーでの公益団体紹介広報ブースの設置（無料出展にて推奨）

福島県内社会福祉施設（施設が制作する焼き菓子等の販売支援）

③広報誌「Present」への寄稿

一般社団法人金融財政事情研究会「お金にまつわるエトセトラ（ファイナンシャルプラン）」6年継続
公益財団法人生命保険文化センター「中学生作文コンクール」入賞作品の紹介 15年継続

■突発的大災害への支援（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

4月14日および本震といわれる16日に熊本県を中心とする震度7の地震が発生したことを受け、突発的な災害に対する初動支援として、九州ブロック長をはじめブロック内各地方協会と相互連携のもとに飲料水や食糧などの物資支援をすみやかに届けるように活動をさせていただいた。

5月に開催された福島での年次統一セミナーでは、LEDバッチを活用した熊本地震への支援呼びかけを行い約154万円の支援が集まった。これは、後述する大分で開催された「熊本地震復興支援大分元気プロジェクト」等を通じて震災復興に役立てられた。

また、ハートフルファンデーションでの年度毎の期限を定めた支援でも、熊本地震に対する支援を決定し、熊本県協会を通じて「熊本県社会福祉協議会」を介しつつ県内全ての児童養護施設へ被災状況を確認しつつ、被災により困っていることのアンケート調査を行った。その結果、テレビ・自転車・車椅子・玩具など施設で必要な品物を伺い寄贈させていただいた。また、当初から「熊本県社会福祉協議会」より、被災による児童の心のケアが課題となっていると伺っていた中、1児童養護施設より「旅行」の希望があり、前述の「大分元気プロジェクト」（1月28日大分県にて開催）への参加を兼ねた小旅行も寄贈させていただいた。同プロジェクトは2,000名規模で開催され、メンタリスト・DAIGO氏の講演のほか、地元大分の「瑞宝太鼓」や東日本大震災の支援の恩返しをするために立ち上げられた「BIG BEAR 福島」のプログラムで開催された。また、NPO法人日本ホスピタルクラウン協会からクラウンK氏が参加され、さまざまなパフォーマンスで会場の子供たちを盛り上げた。

東日本大震災、熊本地震などの大災害が続く現状に憂慮しつつも、JAIFAは物資寄贈に加えて、これからも「子供たちの心のケア」につながるような何かを届けていきたいと考えている。熊本地震への支援では、現在も被災地の児童養護施設へ「クラウン」の派遣プロジェクトを続けている。今後も「未来あるこどもたちのために」子どもたちを笑顔にするようなJAIFAらしい支援を続けていきたいと考えている。

「年度ごとの期限を定めた支援」経過

平成24年度	岩手県一関の児童養護施設「藤の園」への『バイオマスボイラー』を寄贈
平成25年度	宮城県の閑上地区に『トレーラーハウス』を寄贈
平成26年度	宮城県「子どもの村東北」へ『施設備品』を寄贈
平成27年度	福島県「パンダハウス」増築に伴う『施設備品』を寄贈
平成28年度	熊本県内児童養護施設へ『テレビ・玩具・自転車・旅行』等を寄贈

ハートフルファンデーションの組織を構成する中で、各地で突発的災害が相次ぐ中、迅速に被災地の情報を把握し支援が速やかに行えるための体制を整えることを目的に、全国54協会からハートフル・コーディネーターを各1名ずつ選出して全国を網羅する体制を整えた。7月8日には、初めてハートフル・コーディネーターが参集して「ハートフル・コーディネーター研修会」を開催した。危機管理・事業継続アドバイザーの木船賢治氏を講師に迎えての防災特別講演のほか、ブロック毎に分かれてのバズセッションを行い、万一の災害発生時には、理事会、ファンデーション委員会、コーディネーターが中心となって情報把握や支援体制が速やかに行えるように体制を整えた。

この体制整備は、去る8月31日に北海道東部や岩手県に甚大な被害を及ぼした「台風10号」の被害で早速ネットワークが活かされることとなった。同被災では、帯広協会・岩手県協会・旭川協会のハートフル・コーディネーターと地方協会長と本部ハートフルファンデーション委員会がすぐに連携し、①帯広協会を經由し清水町役場と新得町役場へ各水2リットル1,000本ずつ、合計2,000本を支援。②旭川協会を經由し社会福祉法人南富良野大乗会へ石油ストーブを支援。③岩手県協会を經由し龍泉洞温泉ホテルに避難している被災者へ、歯ブラシ・歯磨き粉・石鹸等の日用品を支援させて頂いた。

このように「ハートフルファンデーション」が迅速に活動できるのは、平成27年度会費から、会員一人ひとりからの年会費に年度500円ずつの募金を含んでいただき、毎年約1,800万円の規模での積み立てができることからであり、万一の大災害時に会員全員の総力をもって起動できる体制が整えられたことであります。“継続は力”であること、引き続き、子供たちの未来へ向けて夢や希望を持てるファンデーションとして成長させていくことが、

会員一人ひとりのご理解の賜と改めて心から御礼を申し上げるとともに、「いま私たちにできること」である。

ハートフルファンデーション 募金経過報告書

2017/3/31 (単位:円)

収入		支出	
①前年度末繰越金	17,339,010	①突発的災害支援	3,009,124
②年会費からの収入	18,277,000	熊本地震への支援	2,414,037
平成28年度会費36,449名[@500]	18,224,500	熊本県内へ水・食品・物資等贈呈	1,413,605
平成27年度の会費102名[@500]	51,000	ホスピタルクラウン協会とのタイアップ	1,000,432
地方協会預り分	1,500	台風10号への支援	595,087
③寄付金等	2,663,262	非常用ミネラルウォーター	200,000
一般社団法人人生保協会[H28年度]	1,500,000	日用品	194,639
一般 19件	338,994	石油ストーブ	200,448
一般 11件[熊本地震支援]	824,268	②年度毎の支援[平成28年度]	4,916,069
④バッジ販売	100,000	熊本県内児童養護施設等への物品贈呈	3,717,209
ファンデーションバッジ[@10,000]		児童養護施設への旅行	1,198,860
⑤福島年次統一セミナー募金 (一口1000円以上募金LEDバッジ)	1,989,090	③ハートフルコーディネーター会議 ハートフルコーディネーター開催費	1,746,419
		④バッジ制作費[LEDバッジ] 福島年次統一セミナー募金用LEDバッジ	451,872
		⑤残高証明書発行代	204
合計	23,029,352	合計	10,123,688
		年度末残額	30,244,674

■社会貢献活動の充実（ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2））

社会奉仕活動事業は、J A I F Aの公益事業の重要な位置づけにあり、従来から実施している様々な社会貢献活動の充実拡大をはかり、展開していく。また、J A I F A地方協会の特色を活かした独自の活動を拡大させていく。

当協会の社会貢献活動の原点は、平成7年から開始した「愛のドリーム募金」活動である。「一日10円」の精神で募ったこれまでの募金総額は、21年間で4億7,745万7,364円、福祉巡回車愛のドリーム号は、419台、その他に、車椅子や家電製品、さらには児童支援にかかる文房具などの購入とともに全国各地へ寄贈してきた。

このように、愛のドリーム募金は、「愛のドリーム号」の贈呈に加え、未来ある子供たちのために地域での要望や実情などを受けて、同募金の贈呈対象を、将来を担う子供たちへの支援にも活動の輪を拡大して身近な生活に役立ち、子供たちが大きく育ってほしいと願っている。

これからも、地域に根差した活動として地方協会毎に現地の事情に合わせた贈呈を推進していく予定である。

「かけがえない命とその命を育てている地球環境の保護」を「タッチ エコ！」のスローガンのもと、エコの視点を持った新たな取り組みとして、次の3点について現在実施中であり、平成29年度へ継続している。

①未使用のプリペイドカード（テレフォンカード等）の収集

携帯電話の普及とともに使わなくなったテレフォンカードを手元に持っている人は少なくない。これを収集し、ボランティア活動へ活かすように進めている。

②メガネの回収

メガネ使用者やコンタクトレンズに変えられた方などから、使用しなくなった「メガネ」を回収している。これは、目が悪くてもメガネを買うことのできない途上国を支援するボランティア団体に送り役立てて頂く予定。先の東日本大震災でも役立てられている。

③タオルの回収

自宅や会社にて未使用のタオルを回収し、特別養護老人ホームなどの施設に寄贈して最後は雑巾に至るまで有効活用して頂き喜ばれている活動である。

上記は、共に組織力を活かして成果を上げられるように、来る平成29年6月2日の神戸年次統一セミナー会場への持参受付分まで活動していく。会員のみならず広く支援を呼び掛けていく。

このほか、ペットボトルキャップ、書籍等の回収を行い、地球環境の保護にも配慮した事業も今後さらに拡大させる予定である。

■公益事業としての国際協力の推進（管理部門）

J A I F A提携の海外協会であるN A I F A（全米生命保険ファイナンシャルアドバイザー協会）やA P F i n S A（アジア太平洋生命保険評議会）加盟各国との交流をはかり、生命保険に関する研究を重ねると共に、その視点をアジア各国にも向けて日本がリーダー国として手本となる活動を展開することを目指してきた。特にアジア圏では、今後J A I F Aが他国をリードし『国際的な民による公益の増進』を果たすことができる組織作りになるよう展開する。

今事業年度では、A P F i n S A会長会議がタイ・チェンマイで開催された。アジア圏内では、日本を見習い、日本に追いつき追い越そうとするアジアの人々が目標としたいというような「J A I F Aとしてできること」の実践例をもって国際貢献にもJ A I F Aの公益事業を反映しつつ拡大させていく。

●2016年度の国際会議等の参加

9月 N A I F A年次大会 アメリカ・ラスベガス

●今後の国際会議等の予定

2017年	9月	NAIIFAオーランド年次大会
2017年	5月	APLICマレーシア大会
2019年	未定	APLIC大会予定

■会員増強と組織の強化（管理部門）

組織強化の施策として会員間の情報交換の仕組みを強化することや、本部と会社代表とのコミュニケーションを密にしながら、会社ごとの現状を判断し、会員増加への対応を相互連携することは、J A I F Aの公益事業を津々浦々へ伝達するためには不可欠な取り組みである。

正会員の募集は、会費徴収のシステム化、口座振替による会費納入化など会員の利便化を図る目的で推進している。

日本経済や生命保険業界の環境が厳しい中で、平成28年度をもって12年連続で会員増強を実現していることは、J A I F Aの公益活動普及への成果といえる。

事業年度	会員数	増加数	増加率	
平成16年	27,998名			
17年	29,019名	1,021名	3.6%	
18年	29,248名	229名	0.8%	
19年	30,538名	1,290名	4.2%	
20年	30,576名	38名	0.1%	
21年	31,598名	1,022名	3.3%	
22年	31,770名	172名	0.5%	
23年	31,812名	42名	0.1%	
24年	32,412名	600名	1.9%	
25年	33,775名	1,363名	4.2%	
26年	34,044名	269名	0.8%	
27年	34,890名	846名	2.4%	
28年	36,449名	1,559名	4.3%	12年連続増加(8,451名増)

J A I F Aは、生命保険営業職員を正会員とし、事業に賛同して下さる個人・団体を賛助会員としている。公益社団法人への移行とともに、J A I F Aの活動に共鳴し、共に活動し、支援して下さる方の募集を平成25年事業年度から開始しており、J A I F A会員を通じて賛同者を募っていく。

生保業界の環境も変化してきている中、代理店に所属する営業職員にJ A I F Aの事業活動を広報し、入会促進をしている。生命保険会社に所属する会社に比し、代理店は来店窓口型も多く一般消費者と接する機会には、J A I F A会員であることの誇りと、公益社団法人として活動していることの使命を伝えて頂くことで、消費者の方々が安心して生活できるように取り組む。

■広報誌「Present（プレゼント）」の充実と広報活動の拡大（管理部門）

広報誌「プレゼント」の内容を一般の消費者向けの記事を多く掲載するなどの刷新を行ってきた。今後も更に健康情報や生活に役立つ知恵などの記事を掲載していく。また、一般の方に目にしていたくよう公共機関などへの配布も推進する。

広報活動については、J A I F Aの公益活動を内外にPRするため「ホームページ」や「Facebook」の活用し、このほかDVDやパンフレットなどのツールを活用していく。

●2016年4月号

- ・特集 お腹スッキリ！太りにくくなる！美肌になる！肩こり・頭痛改善！腸内リセットのすすめ
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣
- ・第13回 ゼロから学ぶ税金講座 「『損金算入』とは？」
- ・第160回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「母の祈り」
- ・第37回 年金Q&A 物価が上がっても年金額は据置き！？
- ・第49回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術 【「いつも」がほんの少し変わるだけで】～これからも素敵に輝くヒントをお伝えします～
- ・第149回 お客様からの感謝の声 定年後起業して家族のために仕事一筋だった夫が肺がんに。天国に送り届けて悔いはありません
- ・第61回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 「マイナス金利」って何？私たちへの影響は？
- ・第69回 心のかげはし 走ることで得られた、目標を実現する強い気持ち。継続を力に変える仕事術に迫ります！

●2016年5月号

- ・特集「この人ともっと話がしたい！」「仕事を一緒にしたい！」第一印象をよくする身だしなみ術
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣 「新茶の茶カテキンで脂肪を燃やす」etc.
- ・第14回 ゼロから学ぶ税金講座 「『資産性』の有無」
- ・第161回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「祖母からの贈り物」
- ・第38回 年金Q&A 転職による年金の空白期間
- ・第50回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【桐生純子流、空気を読む力】～目に見えないことにも配慮しよう～
- ・第150回 お客様からの感謝の声<2016 JAIFA 年次大会 in ふくしま 特別編集>5年経過しても震災復興はまだ途上 津波で亡くした職員への悲しみも癒えないけれどお客様とも絆を大切にしていきたい
- ・第62回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 預貯金のリスクを再認識しよう
- ・第70回 心のかげはし 原発被害の困難に負けず、歩み続ける。お客様への恩を返すために励んでいきます！

●2016年6月号

- ・特集 昔ながらの民間療法 自然の薬箱
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣 「半身浴でむくみ解消 デトックスしてリフレッシュ」etc.
- ・第15回 ゼロから学ぶ税金講座 「受取人が遺族なら・・・」
- ・第162回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「未来設計図」
- ・第39回 年金Q&A 給与収入による年金の減額
- ・第51回 桐生純子の愛され力コミュニケーション術【心の読み解き】～思いは行間にあるのです～
- ・第151回 お客様からの感謝の声 妻38歳でまさかの進行した肺がん宣告 医療だけでなくあらゆる療法で手をつくし 最期まで戦った妻の死を決して無駄にしたい
- ・第63回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 相場が弱いときほど積み立て投資を
- ・第71回 心のかげはし 野球選手、ゴルフプロ研修生から保険の道へ。がんを乗り越え、お客様へ想いを伝えます！
- ・2016 NAIFA 年次大会 in ラスベガス 参加登録を開始します！！

●2016年7月号

- ・レポート 2016 JAIFA年次大会 in ふくしま Eyes to the Future 「こらんしょ！ 福のしま ～想いをつなぐ～」
- ・JAIFA 第46回 定時総会報告
- ・2016 NAIFA年次大会 in ラスベガス 参加登録を開始します！！
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「夏野菜は夏バテでもサッパリ食べやすい」 etc.
- ・第16回 ゼロから学ぶ税金 長期の定期保険
- ・第163回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「大きな安心と絶対の保障」
- ・第40回 年金Q&A 繰り上げ受給のメリット
- ・第52回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【名刺から始まるころのスイッチ】～選ばれる自分になる～
- ・第152回 お客様からの感謝の声 出会って3ヶ月後にがんの転移が見つかり事実婚をして闘病を支えました。天国に旅立った妻と過ごした日々は幸せでした
- ・第64回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 株式の売買単位統一へ
- ・第72回 心のかけはし 不動産のトップ営業マンからの転身。お客様とのご縁に感謝しています！

●2016年8月号

- ・特集 熱中症に気をつけよう！
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「夜中のエアコン設定は26℃～28℃がベスト 冷えすぎに注意して！」 etc.
- ・第17回 ゼロから学ぶ税金講座 年金と税金
- ・第164回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「思いやりの形」
- ・第41回 年金Q&A 自営業者の遺族年金
- ・第53回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【あなたらしさの伝え方】～素敵数値の上げ方～
- ・第153回 お客様からの感謝の声 健康でタフだった夫との、突然の別れ。3人の子どもたちの存在と生命保険に助けられ、少しずつ歩み始めました
- ・第65回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ ついに公務員にもDC利用が解禁に！？
- ・第73回 心のかけはし 保険の仕事は“出口”が大事。個人も法人もしっかりとアフターフォローします！
- ・JAIFA社会奉仕活動報告
- ・JAIFA公式ホームページ 『知りたい！生命保険』開設のご案内

●2016年9月号

- ・特集 首・肩のこりと痛み、手・腕のしびれ、頭痛、めまい・・・etc. ストレートネックは万病のもと
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「キノコ狩りに出かけて運動+ダイエットメニュー」 etc.
- ・第18回 ゼロから学ぶ税金講座 年金と確定申告
- ・第165回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「晴れの日の傘」
- ・第42回 年金Q&A 妻の死亡による遺族年金
- ・第54回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【応援してもらえる人になるために】～5つ

の大事なポイントをチェック！～

- ・第 154 回 お客様からの感謝の声 生後 5 ヶ月で数十万に 1 人といわれるホモシスチン尿症と診断された娘。生命保険をお守りにして夫婦で健やかな成長を見守ります
- ・第 66 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ マイナス金利で注目高まる J-REIT
- ・第 74 回 心のかげはし ビジネス界のアカデミー賞を受賞！お客様と共に成長しながら抱く、大きな夢とは！
- ・ J A I F A ハートフルファンデーション活動報告
- ・ J A I F A 公式ホームページ 『知りたい！生命保険』開設のご案内
- 2016 年 10 月号
 - ・「生命保険の月」に寄せて
 - ・特集 本田葉子のおすすめアイデア 暮らしのおしゃれ
 - ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「お茶を飲んで水分補給&お腹スッキリ」etc.
 - ・第 19 回 ゼロから学ぶ税金講座 個人年金を受け取ったとき
 - ・第 166 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「祖父が残してくれたもの」
 - ・第 43 回 年金 Q&A パートタイマーの社会保険加入
 - ・第 55 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【「愛され力」的モチベーションの上げ方】～「自分が好きな自分」を知ろう～
 - ・第 155 回 お客様からの感謝の声 末期がんの姉が一人息子のためにぎりぎりまで病と闘い、46 歳で天国に旅立ちました。これからは家族全員で甥の成長を見守ります。
 - ・第 67 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 円以外の通貨の必要性
 - ・第 75 回 心のかげはし 人気ブティック経営から保険業界へ転身！謙虚と感謝、笑顔を忘れずに取り組みます！
 - ・ハートフルファンデーション贈呈報告
- 2016 年 11 月号
 - ・特集 親のこと、自分のこと、家族のこと「認知症」を理解しよう
 - ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「冬の健康食材“カブ”を多様な調理法で楽しもう」etc.
 - ・第 20 回 ゼロから学ぶ税金講座 個人年金の源泉徴収
 - ・第 167 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「共に」
 - ・第 44 回 年金 Q&A 社長一人の会社の年金加入
 - ・第 56 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【自分を好きになるレッスン】～世界に一人しかいない自分をもっと知ろう～
 - ・第 156 回 お客様からの感謝の声 闘病 19 年、医師も驚く生命力で頑張り続けた妻。長女 19 歳の誕生日を迎えて天国に旅立ちました。
 - ・第 68 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 人気加速中？個人型 DC=iDeCo
 - ・第 76 回 心のかげはし 一日一日を一生懸命に生きる。父からの教を胸に、お客様へ想いを伝えます！
 - ・想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～
- 2016 年 12 月号
 - ・特集 風邪予防と症状対策～おばあちゃんの知恵袋～
 - ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「ヘルシーなおつまみをチョイスして

カロリーダウン！」 etc.

- ・第 21 回 ゼロから学ぶ税金講座 配偶者控除
- ・第 168 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「ぼろぼろの保険証券」
- ・第 45 回 年金 Q&A 厚生年金基金の代行返上
- ・第 57 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になろう】～相手に伝わる言葉の力～
- ・第 157 回 お客様からの感謝の声 余命半年と告知された夫 最期の日々を笑顔で明るく過ごしました 家族全員悔いはありません
- ・第 69 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 自分にあった資産配分割合を簡単に決める方法
- ・2016 NAIFA ラスベガス年次大会研修に初参加して
- ・想いをつなぐ～ブロック・地方協会からのボランティア・公益事業活動レポート～
- 2017 年 1 月号
- ・特集 新春対談水谷 隼 (リオデジャネイロオリンピック卓球男子シングルス銅メダリスト/団体銀メダリスト) 木原みつ代 (JAIFA 理事長)
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「『カラフル野菜食べ』で正月太りを解消しよう」 etc.
- ・第 169 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「母の笑顔と朝顔と」第 54 回 中学生作文コンクール入賞者表彰式
- ・生命保険各社社長より 新年のご挨拶
- ・第 22 回 ゼロから学ぶ税金講座 103 万円から 150 万円へ
- ・第 46 回 年金 Q&A 10 年加入で年金受給可能に
- ・第 58 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【無意識の心遣い、できていますか？】～日頃の振る舞いもコミュニケーションです～
- ・第 158 回 お客様からの感謝の声 人間ドックで膵臓がんが見つかり働き盛りの夫が天国に旅立って 10 年。生命保険は家族への深い愛情だと思います。
- ・第 70 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 集中投資と分散投資はどっちが有利？
- ・第 77 回 心のかげはし 未知の土地で奮闘し続けた 21 年間。お客様と寄り添い、笑顔と真心をお届けます！
- ・第 9 回 全国会長会議が開催されました
- 2017 年 2 月号
- ・特集 65 歳以上の女性の約半分が発症！イキイキ人生を送るために 健康寿命を延ばす骨粗しょう症予防
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣「“陽性” 食材でぽかぽか効果 冬を活動的に過ごそう」 etc.
- ・第 23 回 ゼロから学ぶ税金講座 配偶者特別控除の拡大
- ・第 170 回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「形のないお守り」
- ・第 47 回 年金 Q&A 65 歳になると増額される
- ・第 59 回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【素敵な人になろう】～相手に伝わる言葉の力～
- ・第 159 回 お客様からの感謝の声 48 歳で突然発症した目の難病 妻のサポートと生命保険のおかげで新しい生活を歩み始めました
- ・第 71 回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 2017 年は NISA 口座を賢く使おう！

・第78回 心のかけはし お客様のさらなる充実した人生のために。3つの『質』にこだわり続けていきます！

●2017年3月号

- ・特集 ごはん好きでも痩せられる！ゆるい「糖質制限」ダイエット
- ・健康な体づくり&ダイエット すぐできるオススメやせ習慣 「おやつ代わりに昼寝 リフレッシュして能率アップ！」etc.
- ・第24回 ゼロから学ぶ税金講座 年齢が異なる扶養控除
- ・第171回 ありがとう生命保険～中学生作文コンクール入賞作品より～「大切なパートナー」
- ・第48回 年金Q&A【最終回】受給資格期間「10年」の教え方
- ・第60回 桐生純子の愛され力 コミュニケーション術【プラス思考になるために】～口に出す言葉を変えてみよう～
- ・第160回 お客様からの感謝の声 アメリカで心臓移植を受けたひまりちゃんのお父様お母様から感謝の手紙が届きました
- ・第72回 思わず伝えたくなる！お金にまつわるエトセトラ 収入と所得の違い、知ってますか？
- ・第79回 心のかけはし 新人を育てあげるプロフェッショナル。厳しくも温かく見守り続けます！

1. 教育啓発・情報提供活動事業 (公益目的事業1)

セミナー開催事業

セミナーや講演会開催の目的は、一般消費者の方々に安心して豊かな人生設計を実現できるよう、下記の5つの分野から専門家の体験談や健康増進などのプログラムを通して生きがいを見出し、「まさかの病や死に備える必要性」「家族を含めたライフプラン知識」「高齢化の中での年金情報」など、国民のライフサイクル全般にわたる生活設計に役立てていただくことにおいている。

全国9ブロック54協会がさまざまな分野から講師をお招きして130回のセミナーを開催した。セミナーの殆どをオープンセミナーとして、会員はもちろん会員以外の主婦や学生など一般の方々にも多数ご参加いただいた。開催したセミナーの一部を下記に記載する。

1. 健康増進や先端医療のテーマ

◆開催事例

- ①北村 信 (公益社団法人佐賀国際重粒子線がん治療財団専務理事)
『心と体にやさしい重粒子線がん治療』
- ②岩崎 寛 (札幌禎心会病院 麻酔科 研修センターセンター長)
『誰もしが迎える終末期』
- ③長野 仁実 (現役ナース・糖質制限ブロガー)
『知らないと損する「食事と健康」の新常識、脳から見た長寿の秘訣』
- ④三浦 直弥 (ティーベック株式会社 メディカルプロモーション部 次長)
『医療格差とセカンドオピニオン～がんの最新治療～』
- ⑤大谷 貴子 (NPO法人(全国骨髄バンク推進連絡協議会)顧問)
『「生きるってシアワセ！」～若年性ガンを経験して～』

2. 生きがいを考えるテーマ

◆開催事例

- ①浅野 史郎 (神奈川県大学特別招聘教授 前宮城県知事)

『闘病が開けた人生の扉』

- ②小西 博之（「ザ ベストテン」の2代目司会者）

『「生きている喜び」～末期がんからの生還～』

- ③林 覚乗（南蔵院第23世住職）

『心ゆたかに生きる～自分が好きですか～』

- ④ゴルゴ松本（お笑い芸人）

『命の授業』

- ⑤Da i Go（メンタリスト、企業顧問、経営戦略パートナー、大学特任教授）

『ちょっとした行動で未来を変える方法』

3. 教育・人格形成テーマ

◆開催事例

- ①高塚 苑美（株）グラッシェミッレ）

『車を売りたいなら車の話はやめなさい』

- ②鬼石 直也（メットライフ生命保険（株）浜松エージェンシーオフィス エグゼクティブコンサルタント）

『誰でも楽しく簡単に人の行動・心理を読む』

- ③森本 稀哲（元プロ野球選手）

『全力疾走～チームの一体感の作り方～』

- ④武藤 隆是（株）FUN to FUN 代表取締役社長）

『～心をひらく「ほめ達」の魔法～』

4. ライフプランの設計支援テーマ

◆開催事例

- ①堀出 浩史（株）エルティエーヴィー マネージャー）

『お客様に信頼頂く“基礎知識”「年金」が解説できれば、ライフプランがみえる！』

- ②山本 直子（株式会社シャフト取締役 セミナー統轄部長）

『事例を中心とした意外と知らない相続の話』

- ③田嶋 智太郎（株）アルフィナンツ代表取締役 経済アナリスト）

『どうなる？どうする？これからの資産形成』

- ④内藤 博（事業承継センター株式会社 代表取締役）

『誰でもわかるいちばん優しい事業承継入門～先代から後継者への心の事業承継～』

- ⑤橋 幸夫（日本レコード大賞新人賞第一号受賞者）

『橋幸夫が語る介護、人生観～芸能生活57年を迎えて考える一生健康・一生学習』

5. 経済や金融などの知識向上テーマ

◆開催事例

- ①小林 敬一（不動産鑑定士・土地家屋調査士）

『不動産鑑定評価の活用方法～相続税を取り戻そう！～』

- ②内田 茂樹（がん研有明病院 画像診断センター 診療放射線技師）

『がんと闘うマネー術～がん専門病院の現役放射線技師が指南～』

- ③古里 健一（社会保険労務士）

『企業の助成金、人事労務管理、ストレスチェック等』

- ④伊藤 賢一（郡山税務署 審理専門官）

『確定申告勉強会』

- ⑤松山純子（松山純子保険労務士事務所 代表）

『知って欲しい障害年金のこと～誰もが対象となる可能性のある身近な制度～』

ブロックセミナー

<北海道ブロック>

平成28年10月 7日(金) 「釧路プリンスホテル」
小西 博之 『生きていく喜び～末期ガンからの生還～』

<関東甲信越ブロック>

平成28年 9月30日(金) 「月岡温泉 白玉の湯 泉慶」
松木 健 『「笑顔で過ごすコツ」～病気と向き合う～』
佐藤 忠廣 『「がんは治る時代になりつつあります」究極のがん治療～陽子線治療』
岡田 基良 『「絶対NOと言われない究極のセールス」～サンタ営業3つの秘密～』

<首都圏ブロック>

平成29年 2月25日(土) 「よみうりホール」
ミラクルひかる ものまねコンサート
吉田 沙保里 『夢をおいかけて』

<東海北陸ブロック>

平成28年 9月16日(金) 「三重県総合文化センター 中ホール」
遥 洋子 『さらにもっと力いっぱい、女子力□□』

<近畿ブロック>

平成28年 9月26日(月) 「神戸ポートピアホテル ポートピアホール」
浅野 史郎 『闘病が開けた人生の扉』
植松 努 『思うは招く～目標を実現する諦めない考え方～』

<四国ブロック>

平成29年 1月14日(土) 「高松テレサ」
十河 孝男 『足下に笑顔を届ける会社 感動のオンリーワン企業を目指して』
白下 珠那 『キレイに！楽しく！ウォーキング！』
香川 貴司 『余命半年宣言！私は乗り越えた！実録 がん治療最前線』

2. ボランティアおよびエコ活動事業（公益目的事業2）

社会貢献事業

■愛のドリーム募金■

各地方協会とも贈呈計画への取組みが行われ、高齢者を対象とした福祉巡回車「愛のドリーム号」の贈呈に加えて、地方協会の規模や贈呈先の要望により贈呈対象を児童養護施設等への慰問や支援にも広げ、地域性や計画性を考慮した活動を展開している。

また、広報誌「プレゼント」では、裏表紙に愛のドリーム号贈呈先および児童福祉施設からの感謝の声を掲載し活動報告を続けている。平成29年3月31日現在までの総累計金額は、4億7,745万7,364円である。

■ボランティア団体主催の諸行事に参加

下記団体が取り組む諸行事活動に、お手伝いをさせていただいている気持ちをもって、人的支援として会員が積極的に参加するように取り組んでいる。

☆知的発達障害のある人々のために（公益社団法人 スペシャルオリンピックス日本（SO））

知的障害のある人たちに年間を通じて、さまざまなスポーツトレーニングと競技の場を提供し

ている。スポーツを通じ社会参加を応援するために全国各地で開催される競技会等での支援をしています。

☆遺児学生のために（あしなが育英会 あしながPウォーク10）

全国47都道府県（約60コース）で開催しているボランティアウォークは、約10キロの道のりを歩きながら日本と世界の遺児が抱える問題について考えています。東日本大震災による遺児のケア施設「東北レインボーハウス」の建設も予定されています。

☆ガンに立ち向かう人々のために（公益財団法人日本対がん協会 リレー・フォー・ライフ）

命のリレー・ウォークでは、ガンに立ち向かう日々の思いや体験を語り合い、24時間歩きながら寄付を募るイベントです。患者さん（サバイバー）たちと共に歩くことで、ガンに向う勇気や生きる感動を共有します。

■大災害に対する緊急支援体制■

これまで、国内外の各地で発生した津波や大地震などの突発的自然災害により被害を受けられた方々に対して、JAIFAは緊急支援募金活動を行ってきた。援助を必要とするような大災害が発生しないことが一番ではあるが、万一、援助を必要とする事態が発生した場合には今後も迅速な支援を行えるよう、ハートフルファンデーションの運営体制をもって対応していく。

3. 調査・提言事業（その他の事業）

諸団体との連携・交流等事業

- ・平成28年 4月20日(水)、21日(木) 第46回MDRT日本会大会に木原理事長が出席した。
- ・平成28年 6月14日(火) 第45回TLC(生保協会認定FP)会総会に木原理事長が出席した。
- ・平成28年 7月20日(水) アンダーライティング学院運営委員会に木原理事長が出席した。
- ・平成28年 8月 2日(火) アンダーライティング学院42期生学位授与式に木原理事長が出席した。
- ・平成28年 9月 1日(木) アンダーライティング学院43期生入学式に木原理事長が出席した。
- ・平成28年10月13日(木) 生命保険修士会第42回定時総会に木原理事長が出席した。
- ・平成28年11月 4日(金) 第5回日本損害保険代理業協会コンベンションに山本理事が出席した。
- ・平成29年 1月 4日(水) 一般社団法人生命保険協会新年賀詞交歓会に木原理事長が出席した。
- ・平成29年 1月19日(木) 一般社団法人生命保険協会シンポジウムに田久保理事が出席した。

国際連携事業

■NAIFA年次大会

米国NAIFA年次大会が、2016年9月17日(土)～19日(月)にラスベガス「リオスイーツホテル」内ホールを会場にして開催された。

講演、分科会、ロビー活動の報告、役員選挙などを行う大会、それが会員4万人を有するNAIFAの年次大会である。NAIFAとJAIFAは、互いに抱えるさまざまな問題や課題に対し真摯に向かい合い、お客さまや一般市民に不利益な政策や法案に強く意見を述べる活動を続けている。

アメリカの国会では、生命保険業界に関する法案が2,000近くも提出される中、本年度は「DOL」問題が突出されていた。

DOLとは、Department of Laborの略称で、米国労働省のことを指している。アメリカでは、1974年に国会がERISA 条例(Employee Retirement Income Security Act)を採択、個人及び団体定年退職年金プラン全般の監督をDOLの下に置いた。それからの40年間、定年退職年金市場はその後の401Kプラン

等の導入に伴い、莫大なものに膨れ上がった。この市場の獲得を狙った金融保険業界は多くの商品開発を進め、専属アドバイザー、代理店等の販売経路を利用して来た。しかし、諸々の金融商品には、各々の違ったコミッション体制が取られている。このまちまちな商品別のコミッション体制から生じ得る弊害にDOLが着眼したのである。つまり、DOLの主張によれば、業界アドバイザーは、客観的に判断し、顧客に一番適した安価の定年退職年金商品を薦めず、コミッション報酬の高いものに走り、更に、保険金融会社がその時推しているものを優先して薦めているものだというのである。従って、自ら定年退職年金市場における、消費者の保護対策に乗り出したというのが発端。2017年の4月からは、DOLの法令で上述の定年退職年金市場に置いて、顧客/消費者に年金商品を薦める場合、法律上一番責任性の高い“Fiduciary”としての役目が課される事になる。則ち、コミッションの高低に関係無く、多種の金融商品を客観的に見比べた上、最適なものを薦めているか否かを証明しなくてはならない法的責任を負わされるのである。保険金融業界の各社のこの“Fiduciary 役目”に対する反応は必ずしも一致せず、DOL相手に訴訟を起こしたり、既に率先して社内コミッション体制を見直し、更なるコンプライアンス対策に乗り出した保険会社もある。

このように、米国でも様々な問題点がありますが、日米共に共通しているのは、営業職員がJAIFAやNAIFAといった組織に所属し、常にお客様のために学び、そして我々がお客様に長きにわたり接し続けることが大切な事には国境がありません。米国から学ぶことの価値は高く、公益法人としての役割を再認識しつつこれからも密接な連携を保っていける関係であることは意義深いことである。

■APF in SA会長会議

APF in SAは、2016年1月の会議以降、本年度の会議開催は無かったが、APF in SAの設立目的「アジア太平洋地域での生命保険販売専門家の間での職業上の連帯を深める」のもと、引き続きアジア・オセアニア圏での連携を継続している。

各国とも公益性を高めることの認識が強いため、JAIFAとしても、国の垣根を越えて相互の理解を深め、各国の生命保険をよりよい方向へ導くことのできるよう取り組んでいく。

政策・調査研究活動等事業

政党、関係団体との各種会合に出席し意見の開陳を行い、消費者が不当に不利益を被ることのないようその動向を明示し、消費者の利益を守るなど公益活動に資するよう引続き努力を続けてきた。今後も生命保険料控除などの税制改正や銀行窓販等に対して問題意識を持ちつつ活動を推進していく。

平成29年度税制改正に関する要望項目について

平成28年7月に要望書を作成。自由民主党組織運動本部団体総局財政・金融・証券関係団体委員会へ要望書を提出したほか、10月27日に開催された同会「予算・税制等に関する政策懇談会」にて一般政策の要望を行った。今般の要望事項は下記の通り（抜粋）

《重点要望項目》

- ◎持続可能な社会保障制度の確立に資するために、国民の自助・自立のための環境を整備する観点から、生命保険料控除制度については、社会保障制度の見直しに応じて、現行制度を拡充すること―所得税法上および地方税法上の生命・介護医療・個人年金の各保険料控除の最高限度額を少なくとも5万円および3.5万円とすること、また、所得税法上の保険料控除の合計適用限度額を少なくとも15万円とすること（所得税法第76条、地方税法第34条・同法第314条の2）
- ◎公的年金制度を補完する企業年金制度（確定給付企業年金制度、厚生年金基金制度）および確定拠出年金制度等の積立金に係る特別法人税を撤廃すること（法人税法第8条・同法第84条・同法附則第20条）

《その他の要望項目》

I. 企業年金保険関係

- 確定給付企業年金、厚生年金基金における過去勤務債務等に対する事業主掛金等について、早期の年金財政の健全化に資する柔軟な取扱いを可能とすること
- 企業型確定拠出年金制度における退職時の脱退一時金について支給要件を緩和すること

II. 生命保険契約関係

- 遺族の生活資金確保のため、相互扶助の原理に基づいて支払われる死亡保険金の相続税非課税限度額について、現行限度額（「法定相続人数×500万円」）に「配偶者分500万円＋未成年の被扶養法定相続人数×500万円」を加算すること

また、各政策の状況・情報取得のため諸会議等にも参加した。

- ・平成28年 4月21日（木）番町政策研究所「2016 躍進の集い」に町田事務局長が出席した。
- ・平成28年 4月25日（月）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に町田事務局長が出席した。
- ・平成28年 8月 4日（木）衆議院議員高村正彦朝食勉強会に町田事務局長と職員が出席した。
- ・平成28年 8月31日（水）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に田久保理事が出席した。
- ・平成28年11月17日（木）衆議院議員高村正彦君を囲む会に町田事務局長と職員が出席した。
- ・平成28年12月21日（水）衆議院議員岸田文雄と国政を語る会に町田事務局長と職員が出席した。
- ・平成29年 2月14日（火）自民党各種団体協議会懇談会に木原理事長が出席した。
- ・平成29年 3月 5日（日）自民党第84回定期党大会に木原理事長と町田事務局長が出席した。

○一般社団法人生命保険協会・公益財団法人生命保険文化センター等との懇談会

平成29年1月20日（金）ロイヤルパークホテルにおいて、JAIFA主催による生命保険協会、生命保険文化センター、全国生命保険労働組合連合会、生命保険協会長担当4社の調査部・教育部と各種諸問題を話題としての懇談会が開催された。

当日の出席者は、生命保険協会から、佐々木副会長、若狭副会長、森理事・事務局長、椿事務局次長兼総務部長、和歌山業務教育部長、公益財団法人生命保険文化センターから、鈴木代表理事、長岡理事・事務局長、全国生命保険労働組合連合会から、大北中央執行委員長、明治安田生命から、永田調査部長、田中営業教育部長、住友生命から、高橋調査広報部長、竹村営業教育室長、第一生命から、竹内調査部長、直井生涯設計教育部教育企画課課長、日本生命から、藤本執行役員調査部長、水野営業教育部FPコンサルティング部長、JAIFA側は、木原理事長はじめ、理事、監事、専務理事、ブロック長、事務局長が出席した。

4. 管理部門

組織の現状

平成28年度末の会員数は36,449名となった。前年平成27年度末会員数34,890名に比較すると1,559名の増加となった。また、増加地方協会は44協会であった。

地方協会別会員数は、別表（52～53ページ添付）資料の通りである。

会員増加44協会

札幌・函館・旭川・釧路・帯広・岩手県・宮城県・福島県・茨城県・栃木県・新潟県・山梨県・長野県・埼玉県・千葉県・東京・神奈川県・石川県・福井県・岐阜県・静岡県・愛知県・三重県・滋賀県・京都府・大阪・兵庫県・鳥取県・島根県・岡山県・福山・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡・北九州・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

諸会議の開催

① 理事会

第1回 平成28年度4月18日(月) 午後1時30分～4時30分 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 第1号議案 平成27年度事業報告承認の件 第2号議案 平成27年度決算承認の件 第3号議案 定時総会の開催承認の件 1. 開催日時について 2. 開催場所について 3. 委任状について 4. 議事録署名人について 5. 議事 決議事項: 第1号議案 平成27年度決算承認の件 報告事項: 1. 平成27年度事業報告の件 2. 平成27年度監査報告の件 3. 平成28年度事業計画報告の件 4. 平成28年度予算報告の件 第4号議案 地方協会長承認の件 第5号議案 支部(地方協会)運営規程細則改訂の件 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 理事長・専務理事 2. 組織の現況について 会費入金状況、行事開催報告、愛のドリーム募金、ハートフルファンデーション 3. 年次統一セミナーの開催について 4. その他

第2回 平成28年9月2日(金) 午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成28年度事業推進について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況 2. 内部監査について 3. 年次大会報告 4. NAIFA年次大会 5. 次回以降の理事会と全国会長会議の開催予定について 6. その他

第3回 平成28年10月28日(金) 午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成28年度事業推進について 2. 平成29年事業計画骨子について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 3. ハートフルファンデーション委員会 Ⅱ. 報告事項 1. 職務執行状況の報告について 2. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況等 3. 内部監査について 4. その他

第4回 平成29年1月20日(金) 午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成28年度事業推進について 2. 平成29年事業計画案について 教育委員会 企画広報委員会企画部会 企画広報委員会広報部会 社会奉仕委員会 組織強化委員会組織部会 組織強化委員会財務部会 組織強化委員会金融業界調査部会 組織強化委員会総務部会 ハートフルファンデーション委員会 3. 役員選出について 4. 平成29年度予算原案について 5. JAIFA年次統一セミナーについて 6. その他 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金等 2. 内部監査について 3. その他

第5回 平成29年3月3日(金) 午後1時～3時 メットライフ生命6F中会議室
議題Ⅰ. 決議事項 1. 平成28年度事業推進について 2. 平成29年度事業計画案について(教育 企画部会 広報部会 社会奉仕 組織部会 財務部会 金融業界調査部会 総務部会 ハートフルファンデーション委員会 3. 平成29年度予算案について 本部・地方協会・ブロック 4. 地方協会長の承認について 5. 支部(地方協会)運営規程の改定について 6. その他 Ⅱ. 報告事項 1. 組織の現況について 行事開催報告、会費入金状況、愛のドリーム募金等 2. 内部監査について 3. 年次大会の開催について 2017年次大会の開催 4. その他

②委員会

教育委員会

第1回【教育委員会・編集会議】平成28年 8月22日(月)午後2時～午後3時30分 J A I F A本部会議室

議 事 1. 平成28年度事業進捗について 2. 平成29年度事業計画案(骨子)について 3. 平成28年度広報誌「Present」の制作について 4. その他

編集会議 15:30～17:00

議 題 1. 平成28年度『Present』の誌面内容について 2. 平成29年度広報誌『Present』の編集方針について 3. その他

第2回【教育委員会・編集会議】平成28年11月28日(木)午後2時～午後3時30分 J A I F A本部会議室

議 事 1. 平成28年度事業進捗について 2. 平成29年度事業計画(案)について 3. 平成29年度広報誌『Present』制作について 4. その他

編集会議 15:30～17:00

議 題 1. 平成29年度広報誌『Present』の編集内容について 2. その他

企画広報委員会 企画部会

第1回 平成28年 8月5日(金)午後1時00分～ 於:明治安田生命 神戸支社 会議室

議 事 1. 平成27年度事業進捗について 2. 2016 J A I F A年次大会 in ふくしまについて 4. 2017年 J A I F A年次大会(神戸開催)について 5. その他

【2017 J A I F A年次大会実行委員会】

第1回 平成28年 7月 5日(金)午後2時～午後8時 明治安田生命神戸支社会議室

議 事 1. 2016 J A I F A年次大会報告 2. 2017 J A I F A年次大会について 3. その他

第2回 平成28年10月 3日(月)午後2時～午後6時 明治安田生命神戸支社会議室

議 事 1. 2017 J A I F A年次大会について 2. その他

第3回 平成29年 2月 3日(金)午後2時～午後6時 明治安田生命神戸支社会議室

議 事 1. 2017 J A I F A年次大会について 2. その他

企画広報委員会 広報部会

第1回 平成29年 1月19日(木)午後2時30分～午後5時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 平成28年度事業推進状況について 2. 平成29年度事業計画案について 3. その他

社会奉仕委員会

第1回 平成28年11月17日(木)午後2時30分～午後4時30分 J A I F A本部会議室

議 事 1. 平成28年度事業進捗状況について 2. 社会貢献顕彰の選定について 3. 平成29年度事業計画原案について 4. その他

組織強化委員会 組織部会

第1回 平成28年 9月 1日(木)午後2時～午後5時 J A I F A本部会議室

議 事 1. 平成28年度事業推進と進捗状況について・会員増強について 2. 平成29年度事業計画骨子について 3. その他

③全国会長会議

第1回 平成28年10月28日(金) 15:30～18:00 全国会長会議、J A I F Aフォーラム 19:00～21:20 ナイトミーティング

議 事 1. 本部重要事項報告 ①委員会の進捗と平成29年度事業計画骨子
教育委員会、企画広報委員会 企画部会・広報部会、社会奉仕委員会、組織強化委
員会 組織部会・財務部会・金融業界調査部会・総務部会 ②JAIF Aの組織の
現況等について

平成28年10月29日(土) 9:00~12:00 全国会長会議、ブロック会議
メットライフ生命 6階 大会議室

1. JAIF Aフォーラム報告 8グループからの代表 2. ブロック会議、北海
道ブロック、東北ブロック、関東甲信越ブロック、首都圏ブロック、東海北陸ブロ
ック、近畿ブロック、中国ブロック、四国ブロック、九州ブロック 3. ブロック
会議報告

④ブロック長会議

第1回 平成28年10月28日(金) 13:00~15:00 JAIF A本部 会議室

議 題 1. 会員増強「JAIF Aに来てね 待っと〜よ 40,000人キャンペーン」
について 2. 2017年神戸年次大会動員について 3. 2020年以降の年次大会開催地
について 4. その他

第2回 平成29年 1月20日(金) 12:45~14:45 JAIF A本部 会議室

議 題 1. 組織強化について 全国会長報告会を受けて ①「JAIF Aに来てね 待っ
と〜よ 40,000人キャンペーン」の進捗について ②2017JAIF A年
次統一セミナー(神戸)の動員について 2. ブロック事業活動について 3. その他

⑤ブロック会議

<北海道ブロック>

平成28年10月 7日(金) 釧路プリンスホテル

平成28年10月29日(土) メットライフ生命6階会議室

<東北ブロック>

平成28年10月15日(土) ホテル華の湯 会議室

平成28年10月29日(土) メットライフ生命6階会議室

<関東甲信越ブロック>

平成28年7月 29日(金) ウエスト・ワンビル7F 貸会議室

平成28年10月29日(土) メットライフ生命6階会議室

平成28年12月16日(金) ウエスト・ワンビル7F 貸会議室

<首都圏ブロック>

平成28年 4月 5日(火) 東京協会会議室

平成28年 5月10日(火) 東京協会会議室

平成28年 6月24日(金) 東京協会会議室

平成28年 7月21日(木) 東京協会会議室

平成28年 9月 1日(木) 東京協会会議室

平成28年 9月26日(月) 東京協会会議室

平成28年10月26日(水) 東京協会会議室

平成28年10月29日(土) メットライフ生命6階会議室

平成28年12月 5日(月) 東京協会会議室

平成29年 1月11日(水) 東京協会会議室

平成29年 1月25日(水) 東京協会会議室

平成29年 2月 9日 (木) 東京協会会議室

平成29年 3月16日 (木) 東京協会会議室

<東海北陸ブロック>

平成28年 9月15日 (金) ホテルグリーンパーク津 会議室

平成28年10月29日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年 1月28日 (土) 秀峰館 会議室

<近畿ブロック>

平成28年 7月 5日 (水) ソニー生命大阪支社

平成28年10月29日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年 2月27日 (月) ソニー生命大阪支社

<中国ブロック>

平成28年 5月26日 (木) 郡山市民交流プラザ大会議室ビックアイ7階会議室

平成28年10月29日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成28年11月18日 (土) 第一生命岡山支社

<四国ブロック>

平成28年10月29日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成29年 3月24日 (金) ホテルリブマックス伊予三島

<九州ブロック>

平成28年10月29日 (土) メットライフ生命6階会議室

平成28年11月 8日 (火) ジブラルタ生命大分支社

※平成28年10月29日 (土) のブロック会議は、全国会長会議と同時に、全ブロックが一堂に会して一斉に開催された。

■業務執行体制等

規程順守、個人情報をはじめコンプライアンス体制の強化、また反社会的勢力に対する対応方針など、理事会の場を活用し、役員並びに職員に対しても説明をしたうえで、体制の強化にあたっている。

平成28年度は、「規程遵守」「雇用実態」の各項目での内部監査を実施した。

- 内部監査 1 地方協会の規程順守調査
- 2 地方協会の雇用実態調査
- 3 地方協会の内部監査 東京、東海北陸ブロック

■職員の状況

本部事務局の業務にあたる平成28年度末の専従職員数は、事務局長以下7名である。

■節電の実施

政府の電力需給に関する検討会合及びエネルギー・環境会議合同会合において毎夏・毎冬とも「電力需給対策について」の決定に基づいた節電対策の要請を受け、電力需給対策・徹底した節電に取り組んだ。

■福利厚生

公益社団法人移行後は、一般法人法の適用により、役員の賠償責任のリスクが発生することから、公益財団法人公益法人協会が斡旋する「役員賠償責任保険団体制度」に加入している。この保険は、法人役員が、社員代表訴訟、法人訴訟（いずれも社団法人のみ）、第三者訴訟（社団法人、財団法人共通）により損害賠償請求を提起された場合、法律上の損害賠償責任・訴訟費用を負担することによって被る損害をカバーするものとなっている。